

## 記念植樹祭開催される

斜里町120年 町政施行60年

斜里町・清里営林署主催、斜里町森林組合、知床森林センター、峰浜自然愛護少年団協力による斜里町記念植樹祭が、9月27日（日）晴天に恵まれた斜里町峰浜町有林で行われました。参加者約100名の中には地元小学生も多数参加していました。主催者側の挨拶や峰浜自然愛護少年団の誓いの言葉、営林署

による植樹指導のあと、早速、ミズナラの植樹を行いました



ミズナラは「町の木」です。当日は小学生たちや幼い子供たちが元気に、そして真剣に植えている姿が印象的で、近年緑に対する町民の方々の感心の深さが伺われました。

第45回「森林レクリエーション・in 知床」『紅葉の森で森林浴・自然観察』を10月13日（火）に実施しました。

当日は快晴の天気で気温も暖かく、天候に恵まれた1日でした。応募数が約40名で

あったことから抽選を行った結果、各市町から25名の参加となりました。

今回のイベント場所は知床の森林が凝縮されて見ることのできる「知床自然観察教育林」で、知床横断道路（国道334号線）の西側にあり、自然



第45回



森林レクリエーション・in 知床

紅葉の森で森林浴・自然観察

観察を通じて森林のはたらきなどを学ぶ場として一般に開放されている森林です。

参加者は、青空のなか紅葉に彩られた秋の知床の森を散策しました。水の枯れたボンホロ沼で後ろを振り返ると羅臼岳が頭をのぞかせ、彩られた木々の向こうには「ホロベツの滝」が流れ、上を見ると空の青のなかに紅葉したカエデが映え、その美しさに参加者から感嘆の声がもれるほどでした。

の音にはリラックス効果があること、木の子供達は森の跡継ぎなど、インストラクターの解説を参加者のみなさんは傾きながら聴いていました。

遊歩道沿いには様々なキノコが見られ、シイタケや朽ちかけたマイタケもあり参加者のなかから喜びの声があがりました。

全行程5キロ余りの登り下りの山道で、暖かかったせいか参加者のみなさんは、額に汗をかきながら知床の秋を楽しんだようでした

知床森林センターでは、職員が日常業務の傍ら撮影した知床の山岳・森林・動植物等の写真が約千枚近く集まったことを機会に、これらの写真を見ていただきながら、森林・林業・国有林野について広く国民に知って頂くことを目的に、ホームページを開設しました。

なお、ホームページのURLは次の通りです

URL <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>

e-mail [siretoko@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:siretoko@cocoa.ocn.ne.jp)

問合わせ先 知床森林センター Tel 01522-3-2028

FAX 01522-3-3160



## 知床の森から

平成10年10月 第57号



北見営林支局 〒099-41 北海道斜里郡斜里町本町11番地  
知床森林センター Tel 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160  
ホームページ <http://www.siretoko.knc.ne.jp/>



### ヤマブドウ

ブドウ科のつる性落葉木で、丘陵や山地に生える。秋になると実は黒く熟し、人間はもとより、野生動物等の貴重な食料となる。

## 知床は今

観光で賑わいを見せた知床も、この時期になると入込みも減り、雑踏とした気分から静けさを取り戻しつつある。半島では、厳しい冬を迎える前に、動植物たちの多くのドラマが繰り広げられる。

半島の河川には、2月前から3年間の永い旅を終えた、鮭やカラフトマスが産卵のため溯上を始める。彼等は体をぼろぼろにしながらもなおも溯上し、目的を果たすと流れに身を任せるかのように力果てて逝く。春から秋にかけ黄や白、赤や紫などで綺麗な、あるいは可憐に咲いた草花たちは徐々に枯れて行く、跡形もなくなる1年草、地下茎や根出葉を残す多年草はもうすっかり冬支度を終えている。

山肌を彩る樹木は、今年は鮮やかとは言いが、それでも一年の最後を締めくくるとともに針葉樹の緑葉や落葉広葉樹の



紅葉・黄葉で着飾りを見せている。ここ知床では紅葉というより、ミズナラ、ハリギリ、ダケカンパ、カツラ、ヤチダモなど知床を代表する黄葉という表現が似合う。森林限界までの黄葉に紅葉が加わり、上部は緑葉に彩られながら半島を染めあげて行き、樹木は除じよに葉を落としてゆく。

エゾヒグマは休眠に備え食物あさりに徘徊するエゾシカはこの時期に交尾を迎え、オスシカは高い奇声を森林内に響かせメスシカを求める。エゾシカは、頬にいっぱいドングリを溜めて急がしそうに巣を行き来する。エゾリスは餌（クルミ）の隠し場所がわからなくなるほど保存し種子の散布を助ける。このように、やがて向える白一色の世界を前に、動植物たちの生命を賭けた活動が活発化する。

もうすぐ冬の使者オオワシが飛来し、知床の長い冬が始まろうとしている。



第44回  
森林レクリエーション・in知床

知床硫黄山新噴火口

第44回「森林レクリエーション・in知床を  
久し振りの晴天に恵まれた8月19日」（水）  
に実施しました。

このイベントは、知床硫黄山新噴火口への登  
山と山肌を彩る高山植物の観察を目的とするも  
の。参加者は46名で応募人員約80名の  
中から抽選で選ばれた幸運なみなさんです。

コースは登山道を通りますが、スタートから  
急な登り坂です。参加者はゆっくりと確実な足  
取りで、ミヤマハンノキ、ダケカバ、ミズナラ  
等の樹木のトンネルをくぐり抜け目的地をめざ  
しました。

樹林帯を抜けると右手にはカムイワッカの沢が  
見え、後ろを振り返ると紺碧のオホーツク海が  
広がり、参加者は登りの疲れが癒されるような

広大な景色に見入っていました。

さらに進むと、大きな岩のガレ場が広がり  
手足を使いよじ登り、最後のガレ場の斜面を  
登りきると、目的地の新噴火口に到着しまし  
た。

目的地に到着した参加者は目前に迫る新噴  
火口やオホーツク海を眺め思い思いの場所で  
昼食をとりました。

下山では参加者も周囲の風景を楽しむ余裕  
ができたのか、目の前に広がるオホーツク海  
や周囲の植物を楽しみながら無事に登山口に  
到着しました。



エゾシカ樹皮食害調査

その後の経過と植生調査を追加

♪☆♪☆♪☆♪☆



エゾシカによる農林業などの被害が年々増  
加傾向にある中、道は今年度から北海道道東  
地域（網走、十勝、釧路、根室）において、  
エゾシカの適正な生息水準への誘導・維持を  
図ることを目的に、狩猟期間の延長や1日当  
たりの捕獲頭数の増加を行う「道東地域エゾ  
シカ保護管理計画」の実施に踏みきった。

当センターとしても、樹木被害について食  
害状況の把握と対策の一環を探るため、昨年  
から知床半島ウトロ地区に調査区を設け、追  
跡調査と試験的防除の取組み（木タールの塗  
布・金網巻き）を行っている。

今春の4月中旬に同調査区で実施した追跡  
調査では、全くと言っていいほど樹皮食いは  
見られなかった。昨年まで続いていたオヒョ  
ウニレ・イチイを主体とする食害が今春は何  
故か途絶えた。その一原因として、例年に比  
べ降雪量が少なかったことが考えられたが、

地域によっては樹皮食いが目立つ箇所もあり  
その原因は特定出来ない。しかし、9月に食  
害による樹木の生・枯調査を行った際、主に  
イチイの樹皮食いが確認された。早急に被害  
状況の把握を行った結果、イチイを主体に55  
本の食害が見受けられた。当調査区では、嗜  
好性を示す樹木の樹皮食いが越冬期に限らず  
行われているため、今後の調査方法（時期・  
対策）について考えなければならない。

また、同調査区近くで樹皮食害と併せてエ  
ゾシカ食圧による植生調査を実施するため、  
同調査区近くでコトラード（植生囲い込み）  
を設置し、植生調査を同時に行うことにした  
設置箇所は、クマイザサの食圧が進んでいる  
越冬箇所を設定し、8㎡四方、高さ3mの  
工作物を施し、コトラード内外の食圧変化を  
観察することにした。

斜里町  
知床どんぐり銀行  
開設式

9月26日（土）斜里町運動公園周辺と通称  
「発見の森」（国有林142林班）で、斜里  
町主催（知床森林センター協力）の『森の探  
検とどんぐり拾い』と『知床どんぐり銀行開  
設式』が行われた。

この催しは、平成7年から町の木でもある  
ミズナラの木で豊かな森を育てようと、毎年  
開催されています。あいにくの空模様で、楽  
しみにしていた子供達は少なかったですが、  
老人クラブからの参加もあり、総勢30名と  
なりました。今年は、運動公園も発見の森も  
どんぐりが豊作です。参加者はどんぐりの選



び方について説明を受け、早速公園と発見の森の  
2組にわかれてどんぐり拾いに入りました。特に  
老人クラブの方々は子供に返った様に懐かしいと  
一生けんめい拾い集めう老人クラブのおじいちゃん  
おばあちゃん達、2時間ほどで総量3.5kgも  
拾い集め、どんぐりを各人の通帳に記入してもら  
いました。なお銀行は毎週月曜日に開かれ預金さ  
れた量により図書券と交換されます。

第19回  
知床産業  
賑わう木の葉当てクイズ

第19回「しれとこ産業まつり」が1  
0月4日（日）斜里第一漁協周辺の特  
設会場で行われました。知床森林セン  
ターと斜里営林事務所では、「催し物  
」で参加し、多くの人達が立ち寄りま  
した。今回も昨年に続き動植物写真展  
示、丸太切り体験、空中写真立体的視、  
それと今年新しく「木（こ）の葉当て  
クイズ」の催しを開きました。丸太切



り体験は、「昔が思い出され懐かしい」  
と子供達に混じり、大人も多数参加し鋸  
の研ぎ具合を評価したりで、終日盛況で  
した。木の葉クイズは、紛らわしい葉を  
見て隣の人と相談したり、一つ違いで残  
念がっている人やらで苦労して答えを書  
いていました。また、パソコンでプリン  
トアウトしたハガキのプレゼントでは、  
クマゲラとエゾシカの絵ハガキに人気  
がありました。祭りが盛り上がってきた昼  
過ぎに大粒の雨が落ちてきてテントに一  
時避難するなどありましたが、例年のよ  
うに特産品販売や他の催しも大いに盛り  
上がり終了しました。